

# News Release

**CONCORDIA**  
Financial Group

2019年11月11日

会社名 株式会社コンコルディア・フィナンシャルグループ

代表者名 代表取締役社長 川村 健一

コード番号 7186 東証第一部

## 東日本銀行の企業価値向上に向けた取り組みについて

コンコルディア・フィナンシャルグループ（代表取締役社長 川村 健一）は、子会社である東日本銀行（代表取締役頭取 大神田 智男）の持続可能な収益性と将来にわたる健全性を確保するためガバナンス体制を変更するとともに、東日本銀行は、現在取り組んでいるビジネスモデルの再構築を加速するため「東日本銀行 Sunrise Plan」を策定いたしましたので、これら東日本銀行の企業価値向上に向けた取り組みについてお知らせいたします。

なお、本件にともなうコンコルディア・フィナンシャルグループの中期経営計画の目標指標の変更はありません。

コンコルディア・フィナンシャルグループは、今後も地域にとってなくてはならない金融グループとして、地域とともに持続的に成長し、企業価値の向上をめざします。

【別紙1】 東日本銀行の企業価値向上に向けた取り組みについて

【別紙2】 東日本銀行の新旧本部組織図

以 上

本件に関する照会先（報道関係）

コンコルディア・フィナンシャルグループ 経営企画部広報室  
（横浜銀行 総合企画部広報室内）

TEL : 045-225-1141

# 1. 東日本銀行の企業価値向上に向けた取り組み

- グループによる支援を最大限強化し、融資の残高縮小や市場金利の低下、与信費用増加の兆候といった足元の厳しい環境を乗り越え、東日本銀行の持続可能な収益性と将来にわたる健全性を確保する。

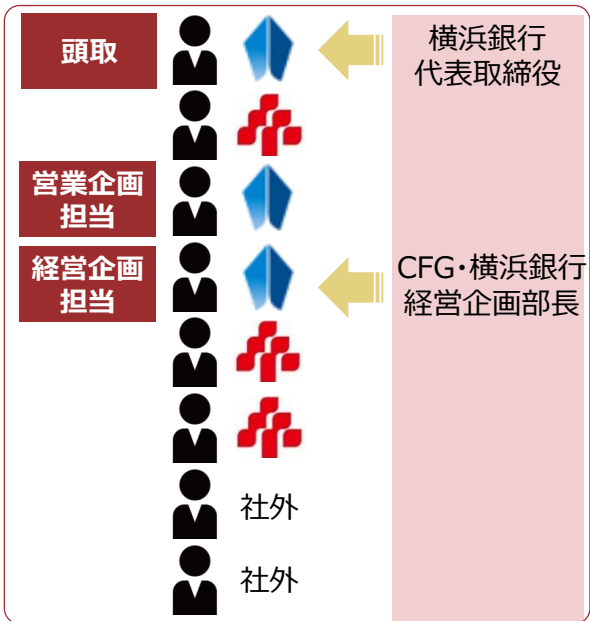
## ガバナンス改革

- グループによる支援を最大限強化し、東日本銀行の構造改革を実現できる体制を整える

### 新たな役員体制

#### 取締役

#### 新たに派遣



#### 専務執行役員



## 収益力改善に向けて 「東日本銀行 Sunrise Plan」の開始

- 東日本銀行において、2022年度を最終年度とする収益力改善計画を策定し、構造改革、コアビジネスの深化、信用リスク管理の強化、不動産の効率的な活用を推進する

<b>抜本的構造改革</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一層の店舗削減 (80→55拠点)</li> <li>● 本部のスリム化 (△70人)</li> <li>● 人事制度・給与体系の改定</li> <li>● 経費削減運動</li> </ul>
<b>コアビジネスの深化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業体制の見直し</li> <li>● ソリューションビジネスの強化</li> </ul>
<b>信用リスク管理の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 債権管理専任担当の配置</li> <li>● 融資部に経営サポート室を設置</li> <li>● CPM委員会を新設</li> <li>● 内部格付制度の活用</li> </ul>
<b>不動産の効率的な活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業不動産の戦略的な活用</li> </ul>

## グループ一体化

- システム・業務の共同化にくわえ、グループ全体での人事制度の改革や、営業面における連携強化を通じて、グループの一体化を進める

### システム・業務の共同化

- 基幹系システムの統合・活用
- イントラシステムの統一 (2020/1予定)
- 事務センターの共同化 (2019/12より順次集約)
- IT企画、リスク管理、内部監査の集約

### 強い組織と人づくり

- 挑戦・成長を後押しする組織風土の醸成
- モチベーションを高める人事制度の導入
- 成長を後押しする研修、育成体系の見直し
- グループ内人事交流の強化

### 営業推進の強化

- 本部ソリューション人員派遣によるノウハウ共有
- グループ会社の商品・サービスの提供拡大
- 東日本銀行のソリューション提供力の底上げ

## 2. 「東日本銀行 Sunrise Plan」の策定

- 企業理念の実現に向け、①抜本的な構造改革、②コアビジネスの深化、③信用リスク管理の強化、④不動産の効率的な活用に取り組み、東日本銀行におけるビジネスモデルの再構築を加速させる。

CFG現中計

CFG次期中計

### 足元の状況

#### 厳しい経営環境

- 取引先とのリレーション希薄化による融資残高および貸出収益の減少
- 経費の高止まり
- 与信費用増加の兆候

#### 強み

- 巨大マーケット東京における顧客基盤
- フェイス・トゥ・フェイスの営業活動
- グループの経営資源

### 東日本銀行 Sunrise Plan

#### 重点施策

##### ①抜本的な構造改革

- 業務運営体制の効率化

##### ②コアビジネスの深化

- リレーション強化によるお客さまへの提供価値拡大

##### ③信用リスク管理の強化

- 信用リスクのコントロールによる健全性の維持・向上

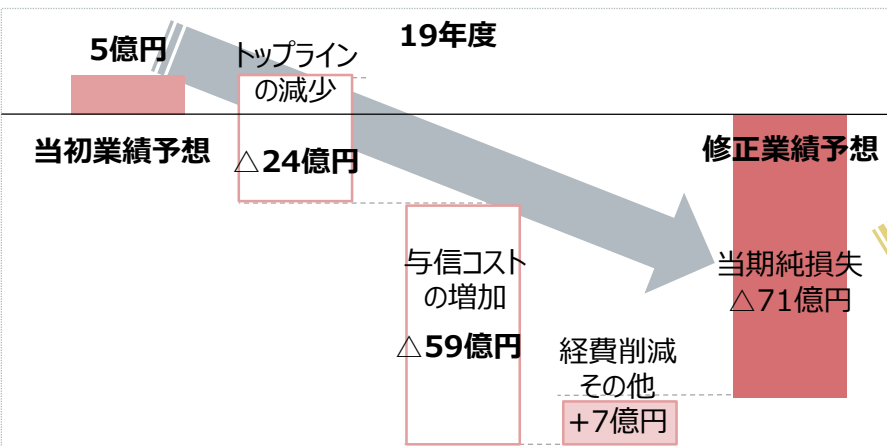
##### ④不動産の効率的な活用

- 企業不動産の戦略的な活用

#### 東日本銀行 企業理念

わたしたちは、東京を核とした首都圏において、心のかよ「フェイス・トゥ・フェイス」の対応によりお客さまとのリレーションを大切に、信頼されるパートナーとして地域社会に貢献します。

#### 当期純利益のイメージ図



収益性の向上

黒字

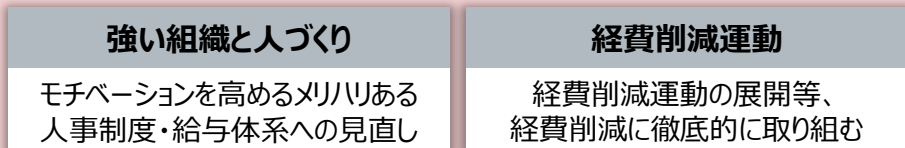
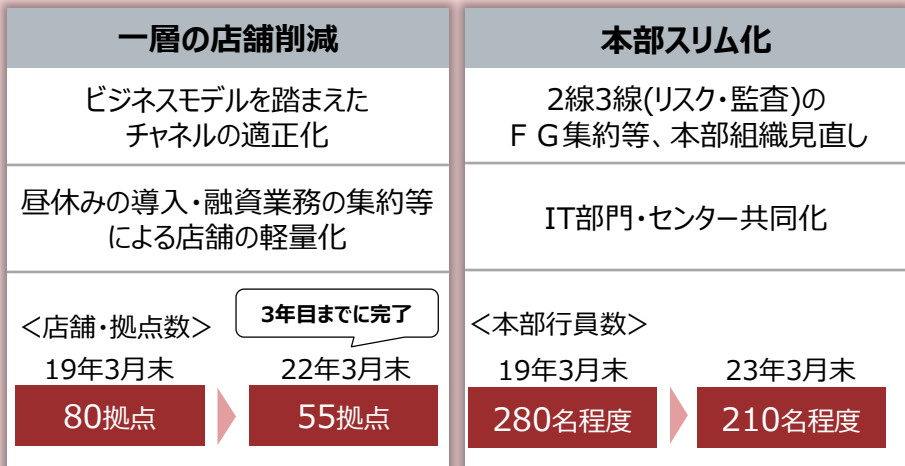
21年度  
CFG中計  
最終年度

CFG中計  
目標指標は  
変更なし

22年度  
本計画  
最終年度

### 3. 「東日本銀行 Sunrise Plan」の概要

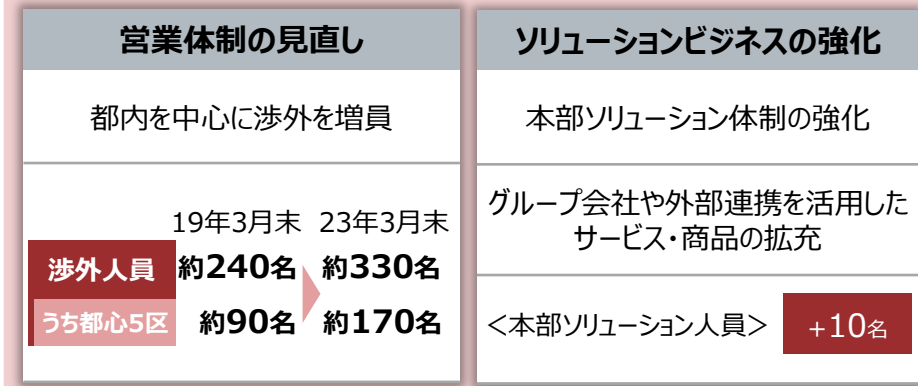
#### 抜本的な構造改革



#### ● 業務運営体制の効率化

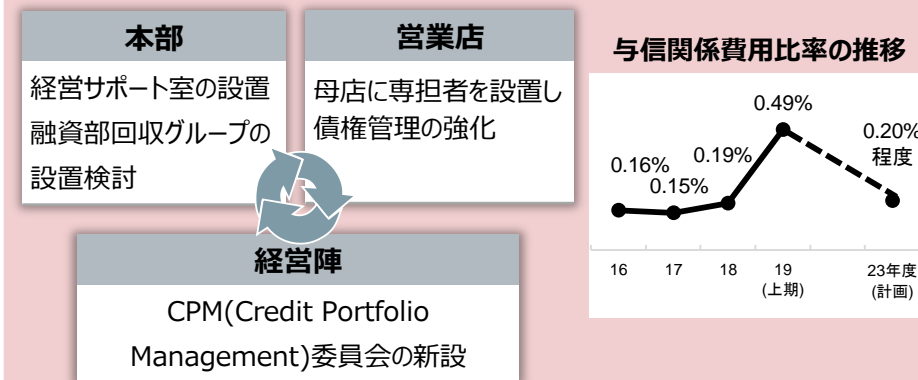


#### コアビジネスの深化



#### ● リレーション強化によるお客さまへの提供価値拡大

#### 信用リスク管理の強化



#### ● 信用リスクのコントロールによる健全性の維持・向上

## 参考. 東日本銀行の業務改善計画の履行状況

- 前期までに業務改善計画を実行するための態勢を整備。今期は業務改善計画で定めたアクションプランを着実に実施し、実効性を高めるためPDCAサイクルを回している。

### 業務改善計画の概要

【持株会社】

グループガバナンス強化委員会

モニタリング

外部専門家のコンサルティング

社外取締役(持株会社)の参画

【東日本銀行】

経営改善会議

進捗管理

社外取締役(銀行)の参画

持株会社役員の参画

### 業務改善計画の履行

全行意識改革

業績目標

営業店態勢整備

本部組織強化

人材育成

業務改善命令

- ✓ 法令等遵守態勢
- ✓ 顧客本位の業務運営態勢
- ✓ 内部監査態勢

### 履行状況

#### 東日本銀行の取り組み

##### 【法令等遵守態勢】

- コンプライアンス研修の充実
- コンプライアンス意識調査の実施（3回目）

##### 【顧客本位の業務運営態勢】

- お客さまの声を商品・サービスの改善に活かす取り組み
- お客さま満足度アンケートの実施
- お取引先中小企業の満足度調査の実施
- 顧客保護および顧客本位の業務運営にかかる研修の充実

##### 【内部監査態勢】

- FG主体の内部監査
- 監査人材の育成

### 報告

#### 持株会社において中間評価を実施

- ① 各種施策の効果・浸透状況フォローアップ結果
- ② 内部監査結果
- ③ コンプライアンス意識調査結果
- ④ 外部専門家による評価結果

中間評価結果にもとづき認識した課題に対する対策を実施するよう指示

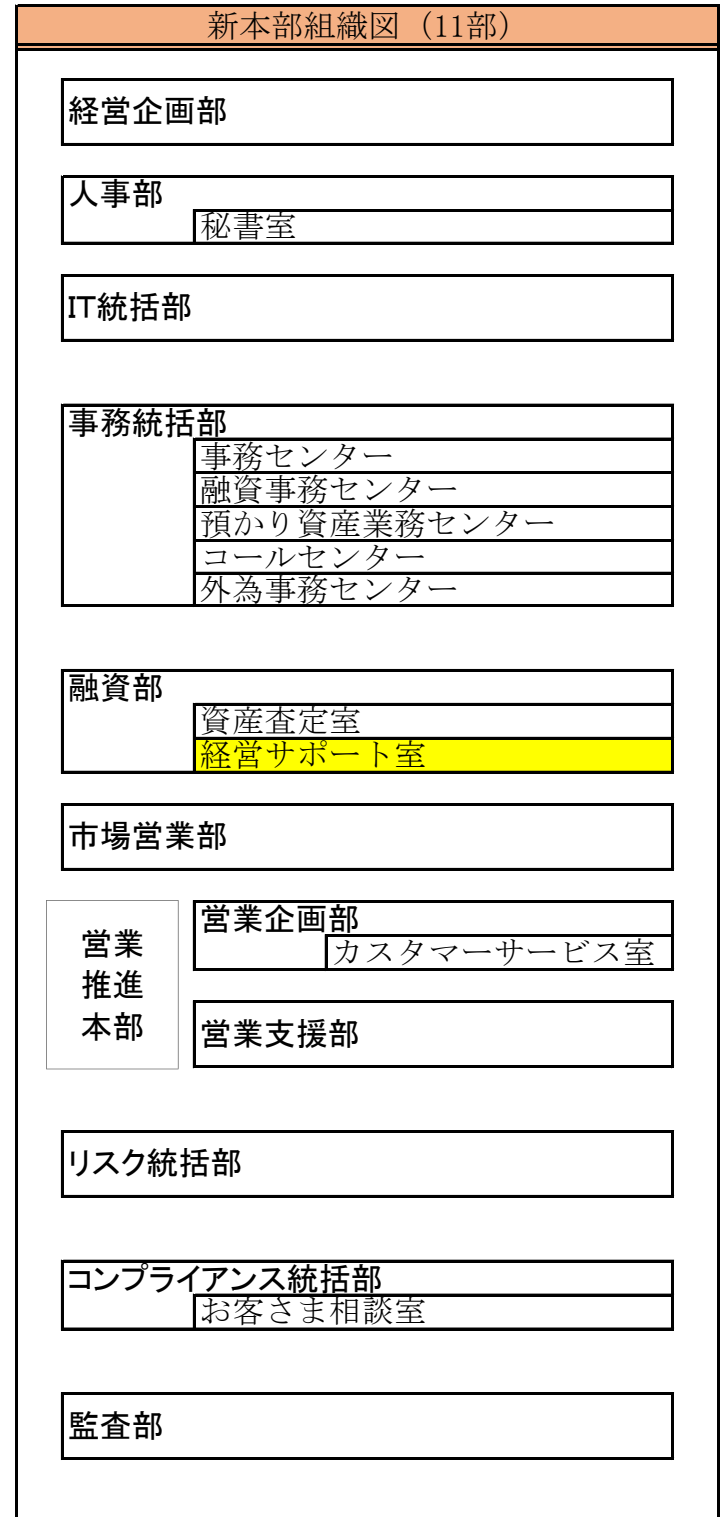
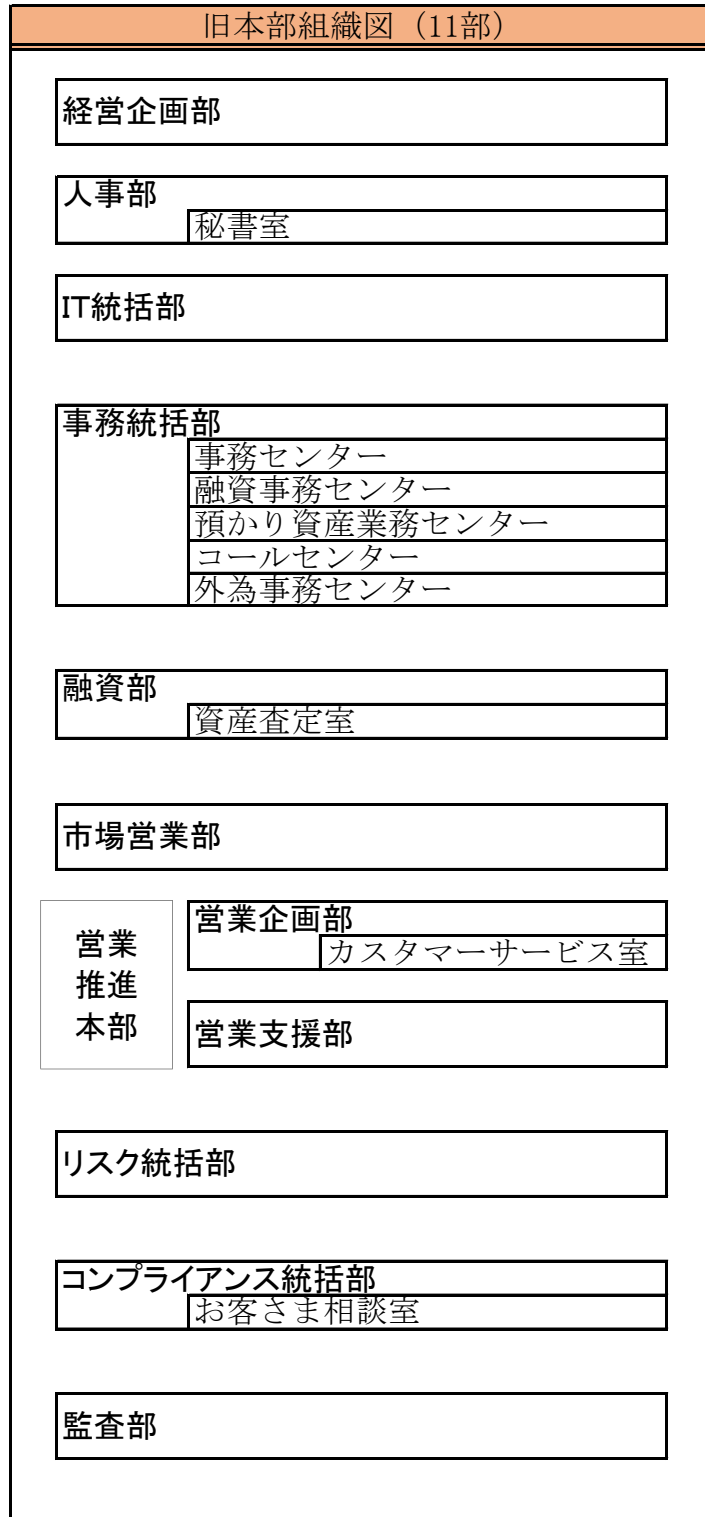
### 指示

#### 東日本銀行において2019年度下期 アクションプランの立案

- 第1線のリスクマネジメント態勢の整備
- 事務改善PDCAサイクルの強化
- 融資審査力の強化

【別紙2】

東日本銀行の本部組織図（新旧）



以上